

2007 日和佐さくらまつり

3月25日から4月8日の期間、日和佐さくらまつりが開催されました。期間中は薬王寺と城山公園で提灯のボンボリが灯され、大勢の方が桜の下でお花見を楽しんでいました。

また、薬王寺で日和佐太鼓の演奏やお茶会、お餅の接待も行われたほか、全日本緑台将棋大会や町中ギャラリー等も開催されました。



第1回 うみがめ復活会議を開催 ～ うみがめを呼び戻し 町に活気を取り戻せ！～

美波町には、大浜海岸をはじめアカウミガメが産卵に上陸する砂浜があります。しかし近年その上陸頭数は減少しています。そこでより多くのアカウミガメの上陸を願い、第1回うみがめ復活会議（教育委員会・うみがめ博物館カレッタ主催）が3月24日に開催されました。会議では、旧日和佐町でのウミガメ保護活動の歴史や大浜海岸における上陸数のデータ等が報告されました。またパネルディスカッションも開催され、パネラーのほか参加者からも多くの質問・意見が出されていました。



田井遺跡保存・活用イベント「田井遺跡を学ぼう！」を開催



3月18日(日)、美波町立由岐公民館2階大会議室におきまして、田井遺跡保存・活用イベント「田井遺跡を学ぼう！」が開催されました。

体験「勾玉(まがたま)をつくろう」では、家族連れなど24人が、徳島県埋蔵文化財センター職員3人の指導を受け、白色等の滑石(約4cm四方)の表面に鉛筆で勾玉の形を書いた後、鉄やすりと紙やすりで削ったり磨いたりし、最後に光沢を出すため布で磨いて仕上げ、縄文中期の田井遺跡からも出土している装飾品の勾玉をつくりました。

参加者からは「ちょっと難しかったけど楽しかった。田井遺跡への興味が深まった。」などの意見が聞かれました。

この後、同センターで田井遺跡発掘調査報告書の刊行に携わっている久保脇美朗研究主査をお招きし、「縄文時代の田井遺跡について」という演題でご講演いただきました。講演会では、はじめに田井遺跡の概要や発掘調査について説明がなされ、遺構内から出土した遺物から田井遺跡を取り巻く環境と当時の暮らしがどのようなものであったのかをお話してくださいました。

当日、会場には20名余りの方の来場があり、講演終了後には参加者から田井遺跡周辺の古地形などについて活発な意見交換が行われ、会場内に展示された出土品の一部も来場者の関心を集めていました。

